

千葉市無電柱化推進計画（案）概要版

1 計画の目的

近年発生している大規模地震や台風等の災害では、電柱が倒壊し、ライフラインが遮断されるだけでなく、道路の閉塞により、医療救護活動等に大きな影響が生じています。

本市でも、東日本大震災時に、電柱が傾斜、沈下し被害が生じており、今後発生する首都直下地震等の災害に備え、これまで以上に、無電柱化への取組みが必要となっています。

平成28年12月には、「無電柱化の推進に関する法律」が施行され、無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に推進するため、国は、平成30年4月に無電柱化推進計画を策定しています。

このような背景から、本市においても、無電柱化を推進するため、基本方針、整備路線、期間等を定めた「千葉市無電柱化推進計画」を策定し、安全・安心なまちづくりを目指すこととします。

2 計画の内容

計画（案）は、「無電柱化の推進に関する法律」第7条第2項に基づき、5つの項目を定めています。

第1章 無電柱化の推進に関する基本的な方針

1 対象路線の考え方と今後の進め方

無電柱化の対象道路の考え方

以下の考え方を基に、無電柱化を推進します。

I 都市災害の防止

大規模災害時に電柱の倒壊による道路閉塞を防ぎ、都市防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路及び緊急輸送道路から防災拠点^{※1}までの路線。

II 安全で快適な歩行空間の確保

通行の妨げとなる電柱をなくし、安全で快適な歩行空間の形成のため、道路特定事業計画における電線共同溝の整備計画路線。

III 都市景観の向上・地域活性化

千葉市の観光資源の魅力を高めるため、無電柱化が求められる路線。



無電柱化の今後の進め方

首都直下地震など大規模災害に対する都市防災機能の向上を図るため、「I 都市災害の防止」に重点を置き、計画的な事業展開を図ります。

2 整備対象路線（参考資料参照）

I 都市災害の防止

- ・緊急輸送道路及び緊急輸送道路から防災拠点までの経路（7区間 計9.7km）。
- ・7区間のうち、東関東自動車道及び京葉道路のインターチェンジから防災拠点までの経路において、無電柱化された路線で少なくとも1つの経路が確保できるよう、無電柱化されていない路線を優先的に整備。

II 安全で快適な歩行空間の確保

- ・区画整理等の他事業による整備や地中化以外による無電柱化も視野に事業を推進。

第2章 無電柱化推進計画の期間

2019年度から2028年度までの10年間。

第3章 無電柱化の推進に関する目標

「I 都市災害の防止」における優先的に整備する路線（3区間 計2.8km）の整備完了を目指します。

高速道路等のICから防災拠点への無電柱化された路線での接続率

68.2% ⇒ 100%

第4章 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

- 1 多様な整備手法の活用、積極的なコスト削減策の採用
低コスト手法、既存ストックの活用
- 2 区役所等の車両出入口の対策
地中化以外の無電柱化を電線管理者と検討
- 3 占用制度の適切な運用
道路法第37条の規定に基づく新設電柱の占用制限路線の追加の検討
- 4 財政的支援
電線敷設工事貸付金制度の活用の検討
- 5 道路事業や市街地開発事業等の実施と併せて行う無電柱化
道路上の新設電柱の抑制、電線共同溝整備の検討

第5章 無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に推進するための必要な事項

- 1 関係者間の連携強化
市と電線管理者が互いに連携を図り、無電柱化を推進します。
- 2 広報・啓発活動
無電柱化の重要性に関する市民の理解と関心を深めるため、市の事業への取組みについて、ホームページ等により広報し、無電柱化の協力が得られるよう、努めます。

《参考》

※1 防災拠点

| | |
|--------|--|
| 総合防災拠点 | 災害対応の中核機能となる災害対策本部 千葉市役所、ポートサイドタワー、千葉県庁 |
| 災害拠点病院 | 重篤傷病者に救急医療を行うため、高度な診療機能等を備えた医療の活動拠点 国立病院機構千葉医療センター、千葉大学医学部附属病院、千葉市立海浜病院、千葉市立青葉病院 千葉県救急医療センター |
| 物資輸送拠点 | 災害発生時に物資を受入・保管し、各避難所へ配布するための仕分け等を行う広域的な物資拠点 国際展示場（幕張メッセ）、蘇我スポーツ公園、千葉県総合スポーツセンター |

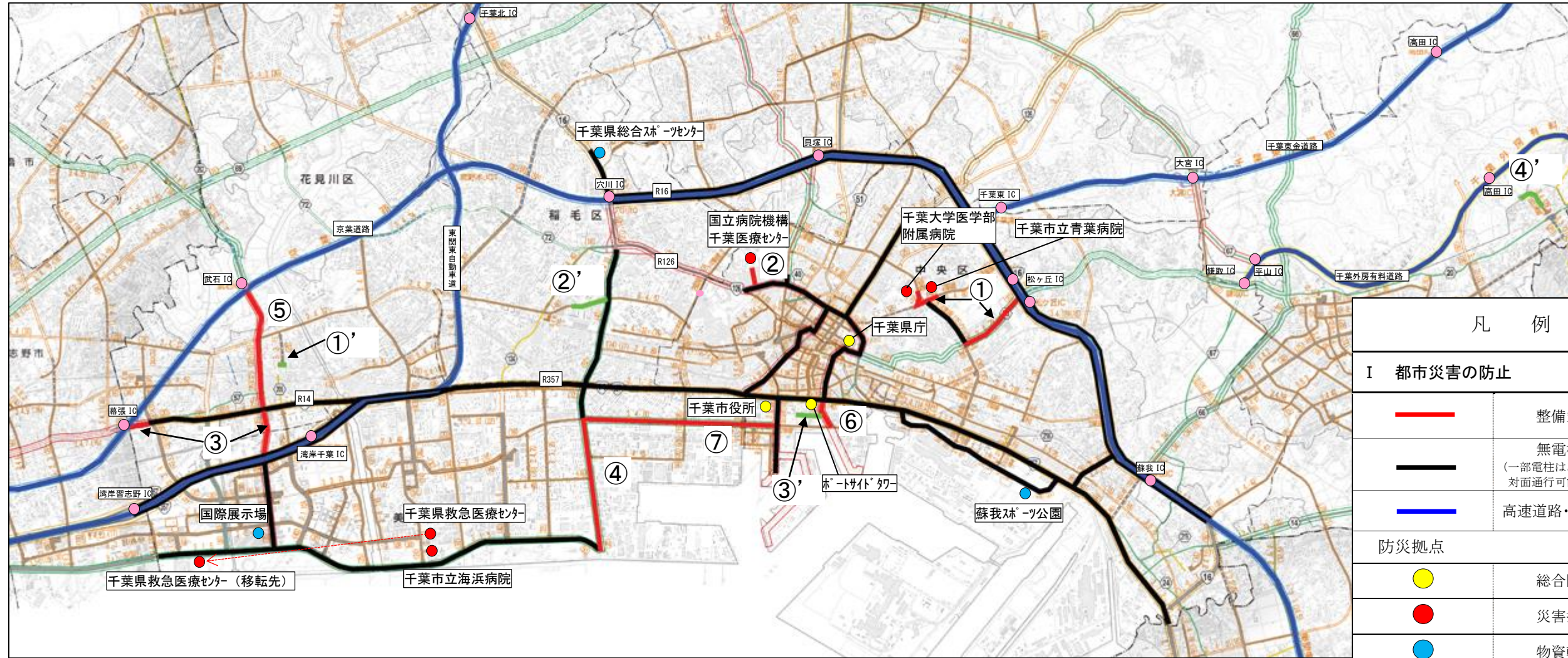


図1 整備対象路線図

| 凡 例 | |
|-------------------------|---|
| I 都市災害の防止 | |
| | 整備対象路線 |
| | 無電柱化路線 (一部電柱はあるが倒壊しても 対面通行可能な路線を含む) |
| | 高速道路・一般有料道路 |
| 防災拠点 | |
| | 総合防災拠点 |
| | 災害拠点病院 |
| | 物資輸送拠点 |
| II 安全で快適な歩行空間の確保 | |
| | 整備対象路線 |

表1 「都市災害の防止」における整備対象路線

| No | 路線名 | 始点 | 終点 | 目的地 | 路線 延長 (km) | |
|----|---------------------|------------|-------------------------|---|------------------|--------------------|
| ① | 千葉大網線 | 大網街道入口交差点 | ハーモニープラザ交差点 | 千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院 | 1.1 | 優先して 整備する 路線 |
| | 中央星久喜町線・ 千葉大学線 | 矢作トンネル東交差点 | 千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院 | 千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院 | 0.5 | |
| ② | 椿森24号線 | 椿森中学校入口交差点 | 国立病院機構千葉医療センター | 国立病院機構千葉医療センター | 0.3 | |
| ③ | 国道14号 | 幕張IC | 美浜区幕張西1-1-8地先 | 国際展示場(幕張メッセ) 千葉県救急医療センター 千葉市立海浜病院 | 0.2 | |
| | 中瀬幕張町線 | 幕張公園交差点 | 中瀬交差点 | 国際展示場(幕張メッセ) 千葉県救急医療センター 千葉市立海浜病院 | 0.7 | |
| ④ | 新港穴川線 | 海浜橋交差点 | 黒砂橋東側交差点 | | 1.9 | |
| ⑤ | 千葉鎌ヶ谷松戸線・ 中瀬幕張町線 | 武石IC | 幕張公園交差点 | | 1.8 | |
| ⑥ | 問屋町2号線 | 中央区問屋町7地先 | ポートアリーナ前交差点 | | 0.4 | |
| ⑦ | 高洲中央港線 | 黒砂橋東側交差点 | 千葉みなと駅入口交差点 | | 2.8 | |

表2 「安全で快適な歩行空間の確保」における整備対象路線

| No | 路線名等 | 始点 | 終点 | 計画 延長 (km) |
|----|-------------|----------------|--------------|------------------|
| ①' | JR幕張駅北口駅前広場 | | | 0.1 |
| ②' | 幕張町弁天町線 | 稲毛区小仲台1-4-20地先 | 稲毛区黒砂台3-30地先 | 1.1 |
| ③' | 千葉港5号線 | 問屋町交差点 | ポートアリーナ | 0.8 |
| ④' | 誉田駅北口線 | 誉田駅北口交差点 | 緑区高田町401地先 | 0.9 |

「都市災害の防止」を優先的に整備することを踏まえ、区画整理等の他事業による整備や、地中化以外による無電柱化も視野に、電線管理者等と調整を図り、事業を推進します。